

【審査員総評】

お疲れ様でした。今日の感想を皆様に共有したいと思います。

まず、はじめの一步活動部門ですが、今回は3団体からの申請があり、良かったと思っています。瀬戸で市民活動がこれからも活発になるためには、この「はじめの一步活動」部門に申し込んでくださる団体が複数あるということは、とても大切だと感じます。その上で、「はじめの一步」なので、誰に対して何をしていくのかを、「はじめの一步」の時にきちんと考えることは必要だと思います。今日のやり取りを思い出しながら、4月からの活動を始める前に踏み込んで考えていただくと良いと思いました。特に団体の仲間と、誰のために活動するのかをもう一度しっかりと話し合い、そしてその人たちにどのように呼び掛ければ良いのかを活動の中に計画づけてスタートしていただきたいです。

それぞれの団体の皆様にコメントします。「せと産後ひろば」さんは「集まりに来られないけどニーズを持っている人」とどのように繋がるのかも重要だと考えます。行政が個別訪問を行っているので、担当課との情報交換を試みていただきたいです。

また、「みんなのワッ!!」さんについては、居場所を定期的に作る前に、同じような活動をされている団体にまずはアウトリーチし、どのような人との繋がりがあるのかを聞いて関係を作るところから始められると良いと思います。

「山の道の会」さんは今年度で2年目の申請となるため、今回の重点項目である勉強会の内容を精査していただきたいです。ハイカー、バイカー、住民といった違う立場の人々が、中馬街道を守るというような、共通して大事だよねと思えるような勉強会をし、その報告をまた聞かせて頂きたいです。

「テーマ型協働活動」部門は、行政の提示した社会課題に対して、アウトプットを出すことが必要になります。「せと空き家まちめぐり実行委員会」さんは、内容はとても良かったのですが、行政の社会課題に対するアウトプットの内容を、もう少しブラッシュアップしていただくと良かったです。この補助金制度に関わらず、色々な協働事業があるので、都市計画課とは協働していく機会はあるでしょうし、行政もそれを望んでいるのではないかと思います。

「特定非営利活動法人デジタルライフサポーターズネット」さんは、審査会のやり取りの中でもありましたが、福祉のニーズを持った人とどのように繋がっていくかが、重要だと思います。行政側も福祉関係部署と協働して活動していただきたいです。認知症サポーターや地域包括支援センターの方に活動の輪に入っていただく等して、協働事業として展開していくことを期待します。

続いて「特定非営利活動法人エム・トゥ・エム」さんについては、協働事業であるこ

とをより活かして、活動していただくと良いと思います。例えば、フィリピンやベトナム出身の方のように、今までの関係では届きにくかったところに関わるために、企業や国際センター、商工会議所等へアプローチすることが、協働事業ならば行いやすいと思います。もう一步発展した活動が行えることを期待します。

最後に「萩山台SDGsプロジェクト実行委員会」さんは、動画を作るプロセスを大切にしたいとおっしゃっていました。動画を作るプロセスと、完成した動画を皆さんに見てもらおうプロセスまでをきちんと行い、萩山台だけではなく瀬戸市全体にとって参考となるモデルとなれるよう頑張ってください。

これらの活動の報告を伺えることを楽しみにしています。本日は、素敵な提案をありがとうございました。